

東北開発促進計画（第五次）：21世紀を先導する自然共存型社会をめざして（目標年次：概ね2010～15年） 概要

< 計画の課題 >

21世紀の日本の多軸型国土構造形成を先導する自然共存型社会のフロンティアとして東北を整備

< 基本目標 >

多彩なライフスタイルの展開が可能で、暮らしやすく活力のある東北

東北において、計画の基本方針を推進することにより、基本目標を達成するとともに、北東国土軸及び日本海国土軸形成の基礎を構築

< 基本方針 >

ゆとりある暮らしの中で、自然の恵み、都市的サービスを楽しむ東北

ゆとりある暮らしを営むために

自然の恵みを守り、味わうために

世界と人々やもの、情報、文化が交流する開かれた東北

世界と人々やもの、情報、文化が交流する開かれた東北のために

魅力ある職場が存在し、産業に活力のある東北

魅力ある職場を確保し、活力ある産業を育てるために

東北において、都市機能や産業の集積、南北及び東西方向に展開する高速交通体系等から構成されるラダー（梯子）型地域構造を形成

< 東北整備のための方向と施策（主要な事業を例示） >

地域の創意と工夫が活かされた地域づくり：県民運動、地域戦略プランの推進
 総合的居住環境の整備：新潟市、北上川上流、秋田湾雄物川流域等での下水道、八戸圏域等での上水道整備
 多自然居住地域の創造：広域市町村連携、マルチメディアの活用
 子供、高齢者等が暮らしやすい環境整備：宮城県総合運動公園、新潟県総合スタジアム、福祉施設の整備、高齢者、障害者が暮らしやすいコミュニティの形成、男女共同参画社会の形成
 歴史と文化を大切にする美しい地域づくり：縄文文化等歴史・文化研究等への取組、青森県総合芸術パーク、仙台メディアテ
 ークなど文化拠点の整備、仙台市、山形県金山町をはじめとする景観形成への取組
 都市ネットワーク形成と都市機能充実：東北諸都市の整備、盛岡南・山形等での新都市整備、中心市街地活性化、仙台

自然と共存する地域整備：白神山地、尾瀬、伊豆沼・内沼・佐潟の管理、公害・環境ホルモン・ダイオキシン対策
 中山間地域等の活性化：最上、奥会津、山形県白鷹丘陵、月山山麓、岩手県平庭高原等での多自然居住地域形成への取組
 災害に強い地域づくり：信濃川・北上川・雄物川・最上川・阿武隈川等の整備、最上川水系、信濃川水系での砂防施設の整備、釜石港等の湾口防波堤の整備、岩手山等火山対策
 流域圏に着目した国土の保全と管理：河川の上下流連携、胆沢・長井・摺上川ダム等の水資源開発

東北のラダー（梯子）型地域構造形成のための基盤整備：
 ・東北縦貫（八戸線）、日本海沿岸東北、常磐、三陸縦貫、八戸・久慈、東北中央及び関越自動車道（上越線）等南北方向の整備
 ・東北横断（釜石秋田線、酒田線）、津軽自動車道等東西方向の整備、東北横断自動車道（いわき新潟線）4車線化
 ・地域高規格道路の整備（宮古盛岡横断、盛岡秋田、本荘大曲、新庄酒田、新潟山形南部連絡、上越魚沼地域振興快速、新潟東西、三陸北縦貫、会津縦貫北・南、松本系魚川連絡道路等）
 ・東北新幹線（盛岡・八戸間及び八戸・新青森間）、北陸新幹線（糸魚川・魚津間、長野・上越間）の整備、北海道新幹線及び北陸新幹線の上記以外の区間について所要の事業、山形新幹線山形・新庄間延伸、高速バスの充実
 ・光ファイバ網、ISDNサービス等高度情報通信基盤の整備
 世界に開かれた広域国際交流圏「東北」の形成：
 ・東北の知的センター機能充実、環日本海交流の推進、世界に開かれた都市機能の整備
 ・仙台、新潟空港の整備とそのアクセスの整備、花巻空港の2500m化、青森、秋田、山形、福島空港の滑走路延長について国と地方の役割分担の検討を踏まえた対応
 ・長期的に東北において地域のゲートとなる国際空港の配置を構想
 ・塩釜、新潟、八戸、秋田、酒田、石巻、小名浜港等の整備
 ・2002年ワールドカップ、ワールドゲームズ2001年秋田大会、アジア冬季競技大会、世界地熱会議、新潟アジア文化祭等による世界に開かれた東北のアピール
 広域連携による地域づくり：
 ・秋田・岩手、宮城・山形、福島・新潟の地域連携軸形成、北東北3県、仙台・福島・山形の連携、日本海沿岸、三陸沿岸の交流・連携、青函地域、福島・茨城・栃木地域の交流・連携、新潟と群馬、長野、富山との交流
 首都圏との連携と交流：
 ・首都圏の高次都市機能の受入れ
 ・首都機能移転への国民の合意形成に向けての一層の取組

独創的な研究開発機能の充実と成長分野の産業育成：
 ・東北インテリジェントコスモス構想等産学官連携の推進、岩手県立大学、東北大学、仙台市、会津大学、新潟大学に接続される研究開発用ギガビットネットワークの活用、各大学地域共同研究センターによる技術移転
 ・ベンチャー企業育成、バイオ・情報通信・環境等成長分野の育成
 多彩なライフスタイルを支える産業展開：商業・サービス業や生活関連産業充実、グリーンツーリズムやリゾート整備
 高度化、高付加価値化による産業構造の強化と多彩な地域産業の充実：
 ・産業支援サービス業等の集積、岩手県の日本一の炭の里づくりなど特色ある地場産品の開発、中核工業団地等の整備、八戸、北上川流域、中越での基盤的技術産業の集積、むつ小川原地域についての開発方策等の検討とそれに基づく推進
 豊かな農林水産業の展開：
 ・担い手の育成・確保、自然循環機能を重視、鳴瀬川・馬淵川沿岸等でのかんがい排水事業、森林の育成、八戸地域等での漁港・漁村整備、体験型・参加型農林水産業の展開
 東北の活力を支える人材の育成：
 ・庄内地域の大学設置検討など大学・大学院や試験研究機関等の整備、県立大学等の相互交流連携
 エネルギーの安定供給：安定的な電力供給の確保、自然エネルギーの開発利用
 地域金融の充実：
 ・新規産業創造、地域づくり支援等にも資する地域金融の充実

東北の人口・世帯・社会経済の動向
 ・全国と同様に計画期間中にピークを迎え、その後、東北の人口は緩やかに減少

計画推進に向けた多様な主体による取組
 ・計画推進に向けた国、地方公共団体、住民、NPO、民間企業等多様な主体の参加

< 計画実施にあたっての留意点 >

- ・住民参加による計画推進
- ・重点的かつ効率的で、公平に配慮した地域整備
- ・他計画等との調整
- ・計画の評価及び弾力的な運用